

2015 年5月の主な出来事

| 中 国 | 日 中 |
|-----|-----|
| 4 | 2 |
| 6 | 4 |
| 7 | 5 |
| 8 | 7 |
| 10 | 8 |
| 16 | 13 |
| 17 | 15 |
| 19 | 16 |
| 20 | 19 |
| 21 | 21 |
| 22 | 23 |
| 25 | 25 |
| 26 | 26 |
| 27 | 30 |
| 28 | |
| 31 | |

●中国政府は、レアース(希土類)の輸出税を撤廃。

●今年の世界の優良上場企業2000社番付を公表し、中国工商銀行が三年連続の首位となるなど、中国の4大銀行がトップ4を独占。国別数では米国について第二位。

●習近平国家主席は、カザフスタン・ロシア・ベラルーシの3か国訪問を開始。

●中国政府の研究機関が、中国再生エネルギーを2050年までに86%拡大可能すると発表した。

●中国の中国銀行・中国人民銀行は、金融機関の預金・貸し出しの基準金利を11日から0.25%幅引き下げると発表。中国の中央銀行による続けざまの利下げで金利は既に史上最低水準。

●中国が南シナ海で進める埋め立て問題で対立する米中の中国・習近平国家主席は北京の人民大会堂でケリー米國務長官と会談し、中国が提唱する「新型大国関係」の促進を呼びかけた。

●中国の二酸化炭素の排出量が1990年以降の累積で2016年に米国を越えて世界1位になる見通しとなった。

●訪中しているケリー米國務長官は北京の人民大会堂で習近平国家主席と会談。「大国関係に成果」は出ている。南シナ海は平行線をたどった。

●中国国家外貨管理局は2012~2014年の間に、外国為替取引の規則違反や異常な取引を計7318件、金額にして1321億4000万ドル(約15兆8360億円)を検出した。

●原油輸入量が、米国を抜いて初の世界1位になる。

●中国政府は、製造業の高度化を目指す今後10年の行動計画「中国製像2025」を発表。

●中国が今年実施する利下げ幅は、2008年以来最大となり、2015年利下げ幅は0.75%となる。

●中国の今年4月の全国財政支出は前年同期比33.2%増の1兆2535億元(約24兆4000億円)で伸び率は前月比28.8%の大幅増だった。

●今年第一四半期(1~3月期)、中国もサービス貿易額は1495億4000万ドル(約18兆700億円)に達した。

●中国共産党は、北京で「中央統一戦線工作会議」を開いた。

●地方政府が積み上げた約4兆ドル(約485兆円)の債務をめぐり、中央政府が国債を発行して地方政府を一気に救済する案を打ち出した。

●中国と香港の証券監督当局は、7月1日から中国本土と香港の証券投資ファンドの相互販売を解禁すると発表。限度額は各3000億元(約6兆円)に設定された。

●中国の李克強首相は、南米ペルーを訪問しウマラ大統領と会談。

●中国財務省は、衣料品や紙おむつ、靴など一部の日用品の輸入にかかる関税を6月1日から平均で約50%引き下げると発表。

●今年のレアース(希土類)鉱とタングステン鉱の採掘量の上限指標を発表した。レアースの上限は10万5000t、タングステンの上限は9万1300t。

●中国の習近平国家主席は、視察先の浙江省杭州で開かれた会議で「経済長を維持するための措置と方法を深く研究していく必要がある」と述べた。2016年から始まる第13次5ヵ年計画の策定に向けて研究強化を指示した。

●李克強首相が主宰する國務院常務会議が開催され、消費財の貿易関連政策を充実させ、国内消費者の購入時の選択肢を豊かにする方針が示された。

●中国・上海株の売買が急増している。上海証券取引所の1~4月の売買代金は米ニューヨーク市場を上回り、世界最大となった。

●民主党の野田前首相は王金平立法院長(国会議長)と会談する。

●日中友好議員連盟会長の高村正彦自民党副総裁は、北京で中日友好協会会長の唐家璇元國務委員と会談。

●日中韓と東南アジア諸国は中央銀行総裁会議を開いた。

●日中友好議員連盟(会長・高村正彦自民党副総裁)訪中団は、北京の人民大会堂で中国共産党序列3位の張徳江全国人民代表大会常務委員長と約1時間会談。

●日中両政府は外務省の領事局長協議を都内で開き、人的交流を拡大する考えで一致した。

●自民党の額賀福志朗・元財務相が率いる平成研究所(額賀派)の訪中団が、北京の人民大会堂で中国共産党序列4位の俞正声・全国政治協商会議主席と会談。

●中国社会科学院は2015年版「日本青書」を公表した。

●日中韓3か国は12、13日に韓国ソウルで開いていた自由貿易協定(FTA)の7回目の首席代表会合を終えた。

●中国の上海大学は国家図書館出版社と共同で、米国など連合国側が戦後日本のA級戦犯を裁いた極東国際軍事裁判に関する「証拠文獻集」50巻と「索引と付録」3巻を出版した。

●3月末時点の米国債の国別保有額で中国が日本を抜き、2ヵ月ぶりに首位となった。中国が1兆2610億ドル(約150兆円)、日本が1兆2269億ドルだった。

●政府は、6月に約3年2ヵ月ぶりに開催予定の日中財務対話で、中国が主導するアジアインフラ投資銀行(AIIB)への参加・不参加の意思表明を見送る方針を固めた。

●国土交通省は、中国との航空当局との間で今年10月末以降羽田空港の昼間の時間(午前6時~午後11時)に北京・上海・広州の計3路線で両国の航空会社が就航することについて合意した。

●中国山西省陽泉市は第2次世界大戦中に旧日本軍に慰安婦として働かされたと訴える市内の女性たちをテーマにした映画「大寒」を製作し記者会見をした。

●中国を訪問中の自民党の二階俊博総務会長は、広東省広州市で、中国政府の次世代リーダーと目される胡春華・広東省党委員会書記と会談。

●中国を訪問中の自民党の二階俊博総務会長は、北京市内で開かれた日中交流行事の際、習近平国家主席に安倍晋三首相の新書を手渡した。習氏は、人民大会堂で、二階氏に同行した約3000人を前に演説。

●外務省の伊原純一アジア大洋州局長が中国を訪問し、北京で中国外務省の孔鉉佑アジア局長や、北朝鮮の核問題を巡る6カ国協議の議長を務める武大偉・朝鮮半島問題特別代表と相次いで会談。

●中国を訪問中の自民党の二階俊博総務会長は大連市の東北財形大で学生ら対象に講演し、日中関係の改善を呼びかけた。

●財務省が発表した4月の貿易統計によると、輸出から輸入を差し引いた貿易収支は534億円の赤字。中国に対しては4759億円の赤字。

●日中経済協会は、2007年3月から会長を務めてきた張富士夫氏(トヨタ自動車名誉会長)の後任に新日鉄住金の宗岡正二会長が内定したと発表。7月に就任する。11月に訪中団を派遣する予定。経団連の榊原定征会長のほか、日本商工会議所の三村明夫頭も参加する。

●防衛省の徳地秀士防衛審議官は、中国人民解放軍の孫建副総参謀長と会談し、偶発的な軍事衝突を避ける日中防衛当局間の「海上連絡メカニズム」の早期運用開始に向けて作業を進めることで一致した。